

2011年3月15日

各加盟労組委員長殿

全国一般労働組合全国協議会  
中央執行委員長 平賀雄次郎

## 全国協の「東北関東大震災」支援策について

3月11日に発生した東北関東大震災で多くの犠牲者が出ました。地震と津波の被害、福島原発事故の影響は想像を絶する規模になりそうです。

この地域には、共生ユニオン岩手、宮城合同、ふくしま連帯ユニオン、いわき自由労組と4つの全国協傘下の組合があります。また、日常的に支援協力関係にある、鉄道産業労働組合、電通労組、郵政合同、東北全労協、各県全労協があります。それらの組合員、家族の状況を把握している最中ですが、通信手段の障害が大きく、別添え資料にあるぐらいの把握しかできていません。

各組合から、できることはないか、現地支援をどうしたらよいか、カンパはなど多くの問い合わせが来ています。そこで、当面、全国協として下記のような対応を取ることにしました。各組合の理解と協力を要請します。

### 記

#### 1. 中央執行委員会の開催

3月12日（土）開催予定だった20期第3回中央執行委員会を3月26日（土）に開催し、震災支援策と11春闘の取り組みを検討、決定する。

#### 2. 現地支援について

全労協、全港湾、全日建連帯、東北全労協、全国協加盟組織と連携し、以下の取り組みを追求する。

##### ① 支援カンパ 連帯基金と命名

全国協として直ちに取り組みを開始する。

振り込み口座は全労協と相談しながら数日中に決定する。

##### ② 物資カンパ

当面輸送手段が不確実なので、各組合で準備しておく。

送り先が確定し次第、別途指示する。

##### ③ 現地支援ボランティア派遣

受け入れ態勢ができて、要請が来たとき派遣する。

#### 3. 被災地労働相談の取り組み

震災を口実とする解雇、一時帰休などの相談、休業補償の相談

雇用保険、労災保険 緊急支援策の活用など

各加盟組合で とりわけ東北4労組で体制を取る。

周知方法と相談スタッフの準備 神戸被災ユニオンの経験を生かす

全労協フリーダイヤルを活用する

以 上